

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 101妊産婦保健の充実 ☐ 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1011 【取組・事業名】 妊婦健康診査

【事業概要】 妊婦一般健康診査等を実施する。

【事業の課題】 妊婦歯科健康診査の受診率が低い、受診率の向上に努める必要がある。

【事業の目標】 妊婦の疾病の早期発見、早期治療を促進し、妊婦の健康管理の向上を図ります。

【事業の目標指標】
指標＞ ニーズ調査（就学前）妊娠・出産・育児についての不安への対応に満足している人」の割合
妊婦健康診査受診率
＜基準値（20年度）＞ 85.6% 95.2%
＜目標値（26年度）＞ 基準値より増加 100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☐ 若者 ☐ 妊婦 ☒ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐（ ）
＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	209,211千円	198,114千円	- 99.6%	H23.4.1以降の妊娠届け者から妊婦健診受診票が異なるため、妊婦に混乱が生じないよう医療機関と十分に連携を図る。
23	210,032千円	206,804千円	86.9% 93.5%	子宮頸がん検査・クラミジア検査追加
24	207,099千円	203,558千円	- 89.5%	受診率向上に努める。
25	206,444千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1 親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1 親子の健康確保
【施策名】 101 妊産婦保健の充実 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50 子ども健康課

【取組・事業No】 1012 【取組・事業名】 妊産婦・新生児および未熟児訪問指導

【事業概要】 支援が必要な妊産婦・新生児や訪問希望のある者等に対し、助産師や保健師が訪問し、妊娠・出産・育児に関する助言、指導等を行う。

【事業の課題】 訪問指導の必要な妊産婦等を把握するため、医療機関との連携をより強化する必要がある。

【事業の目標】 母体の保護、新生児等の健全育成および養育困難家庭の支援に努めます。

【事業の目標指標】
＜指標＞ニーズ調査（就学前）「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間のある母親」の割合
＜基準値（20年度）＞77.3%
＜目標値（26年度）＞基準値より増加

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☒ 産婦 ☒ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐（ ）
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～ 0歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	1,406千円	1,076千円	-	【訪問実績】 妊婦 延べ 25人 産婦 延べ 261人 新生児・未熟児 延べ 274人 医療機関と連携が図られるよう、妊産婦保健サービスについて医療機関に周知する。
23	1,174千円	1,085千円	75.3%	【訪問実績】 妊婦 延べ 29人 産婦 延べ 227人 新生児・未熟児 延べ 241人 医療機関と連携が図られるよう、妊産婦保健サービスについて医療機関に周知する。
24	1,039千円	974千円	-	【訪問実績】 妊婦 延べ 17人 産婦 延べ 241人 新生児・未熟児 延べ 251人 医療機関と連携が図られるよう、妊産婦保健サービスについて医療機関に周知する。
25	1,102千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 101妊産婦保健の充実 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1013 【取組・事業名】 両親学級

【事業概要】 妊婦およびその配偶者を対象に、赤ちゃんのお風呂の入れ方や抱き方の体験学習、助産師による講話等を行う。

【事業の課題】

【事業の目標】 子どもを生み育てる心を育み、子育てを男女が共同して行うことができるよう妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞ ニーズ調査（就学前）育児に参加する父親の割合 ニーズ調査（就学前）育児に不安や負担感を感じている母親の割合
＜基準値（20年度）＞ 86.8% 76.5%
＜目標値（26年度）＞ 基準値より増加 基準値より減少

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☐ 若者 ☐ 妊婦 ☒ 産婦 ☐ 父親 ☒ 母親 ☒ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	84千円	70千円	-	参加者実績 妊婦 150人、夫 149人。 体験学習、情報提供の充実を図る。
23	83千円	83千円	98.2% 74.8%	参加者実績 妊婦 157人、夫 151人。 体験学習、情報提供の充実を図る。
24	77千円	77千円	-	参加者実績 妊婦 124人、夫 118人。 体験学習、情報提供の充実を図る。
25	97千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1 親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1 親子の健康確保
【施策名】 101 妊産婦保健の充実 ☐ 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50 子ども健康課

【取組・事業No】 1014 【取組・事業名】 若年妊産婦のつどい

【事業概要】 10代で妊娠した妊産婦の育児不安の軽減を図るため、妊産婦同士の交流や個別相談を行う。

【事業の課題】 対象者が参加しやすい場の設定について検討する必要がある。

【事業の目標】 地域で孤立しがちな若年妊産婦の育児不安の軽減を図ります。

【事業の目標指標】
指標 > 参加者数 事業アンケート参加者の満足度
<基準値 (20年度)> 30人 75.9%
<目標値 (26年度)> 若年妊産婦 (訪問者) 全員 100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☐ 若者 ☐ 妊婦 ☒ 産婦 ☒ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
<子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	41千円	41千円	14人 100%	参加を促すため、事業前の電話かけを実施していく。
23	33千円	28千円	4人 100%	訪問時に事業の紹介や事業前の電話かけを実施するも、ネットを通じたりと独自の交流がされており、本事業への要望は少なかった。今後は妊産婦相談に参加を促したり、個別相談に応じていく。
24	千円	千円		【事業終了】単独事業としての実施要望が少ないことから、24年度からは妊産婦相談事業に統合。
25	千円	千円		【事業終了】
26	千円	千円		【事業終了】

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 101妊産婦保健の充実 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1015 【取組・事業名】 妊産婦相談

【事業概要】 育児不安の軽減を図るため、妊産婦の体や心の変化に関する知識の提供、個別相談および参加者同士の交流を行う。

【事業の課題】

【事業の目標】 妊産婦の育児不安の軽減を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞参加者数
＜基準値（20年度）＞79人
＜目標値（26年度）＞120人

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	74千円	69千円	82人	管理ケースのフォローを実施する。
23	60千円	60千円	101人	管理ケースのフォローを実施する。 若年妊産婦等、若い世代の母たちが、交流できるような開催方法を検討した。
24	60千円	60千円	84人	管理ケースのフォローを実施する。 若年妊産婦等、若い世代の母たちが、交流できるような開催方法を検討した。
25	60千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1 親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1 親子の健康確保
【施策名】 101 妊産婦保健の充実 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 91450 市立病院 50 総務課

【取組・事業No】 1016 【取組・事業名】 母乳外来

【事業概要】 出産後の母親を対象に、助産師がマンツーマンで乳房マッサージなどの母乳ケアや育児相談を行う。

【事業の課題】 年々利用者数が減少しているため、他院で出産した母親にも利用してもらえるよう可能な範囲でPRする必要がある。

【事業の目標】 母親の乳房の状態に応じた母乳ケアの指導や育児相談を行うことにより、母乳育児を支援します。

【事業の目標指標】
＜指標＞母乳外来年間延べ利用者数
＜基準値（20年度）＞ 224人
＜目標値（26年度）＞ 200人

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ho/newho/bonyuu.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☒ 妊婦 ☐ 産婦 ☒ 父親 ☐ 母親 ☒ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～ 1歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	203人	22年度の年間延べ利用者数は目標の200人を何とかクリアした。 しかしながら、現在、母乳外来を担当する産婦人科外来および産婦人科病棟の人員や勤務時間等の都合により、利用対象を当院で出産した母親に限定しており、これ以上利用者数を増加させることは困難な状況である。 23年度は、当院で出産する妊婦から出産後に母乳外来を利用してもらえるよう、出産前後のきめ細やかな対応に努めていく。
23	0千円	0千円	176人	23年度の年間延べ利用者数は、目標の200人をやや下回った。 依然、利用対象を当院で出産した母親に限定せざるを得ない状況であることから、24年度は、引き続き当院で出産する妊婦に対するきめ細やかな対応と母乳外来の周知に努める。
24	0千円	0千円	216人	延べ利用者数は年々減少傾向にあったが、24年度は前年度比で40人増加し、2年ぶりに目標の200人を上回った。 25年度も目標をクリアできるよう、引き続き当院で出産する妊婦に対するきめ細やかな対応と母乳外来の周知に努める。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1 親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1 親子の健康確保
【施策名】 102 乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50 子ども健康課

【取組・事業No】 1021 【取組・事業名】 乳幼児健康診査

【事業概要】 乳児（4か月児、7か月児、10か月児）、幼児（1歳6か月児、2歳児歯科、3歳児）を対象に健康診査を行う。

【事業の課題】 2歳児歯科健診の受診率が70%と低いことから、受診率の向上を図る必要がある。

【事業の目標】 心身ともに健全な発育を助長し、健康の増進を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞ ニーズ調査（就学前）乳幼児健診満足者の割合 乳幼児健診受診率
＜基準値（20年度）＞ 91.0% 92.5%
＜目標値（26年度）＞ 100% 100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐（ ）
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～3歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	73,937千円	65,080千円	- 93.0%	未受診者対策の強化を図った。4か月児健診未受診に加え、7か月および10か月児健診未受診者への訪問等、1歳10か月および3歳9か月時点での受診勧奨を実施した。
23	71,866千円	70,742千円	91.9% 92.9%	未受診者対策を継続して行った。また気になる子どもの早期把握のため、幼児発達記録票を作成し、4公立保育所の4歳児で試行活用実施した。平成24年度は全公立保育所に拡大し活用方法を検討する。
24	73,182千円	72,202千円	- 92.3%	未受診者対策を継続して行った。幼児発達記録票を、全ての公立保育所の4歳児で活用実施した。平成25年度は幼児発達支援事業として、民間保育所等へ拡大して実施する。
25	73,138千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1022 【取組・事業名】 経過観察クリニック「わいわいDay」

【事業概要】 1歳6か月児健康診査等で精神行動発達での経過観察が必要になった幼児を対象に、専門職による観察や発達状況の評価および適切な養育支援を行う。

【事業の課題】 参加率の増加を図る必要がある。

【事業の目標】 精神行動発達で支援が必要な幼児に、適切な対応を行い、健やかな成長発達を促します。

【事業の目標指標】
＜指標＞対象者の参加率
＜基準値（20年度）＞ 64.8%
＜目標値（26年度）＞ 100.0%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/waiwai.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ()
 ＜子どもの対象年齢＞ 1歳～3歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	764千円	709千円	66.3%	
23	476千円	476千円	68.3%	養育面のフォローが必要なケースについては、関係機関と連携を図り支援していく。
24	535千円	525千円	73.0%	平成25年度は子ども未来センター家庭相談員を従事スタッフに追加し、養育面でのフォローを強化する。
25	565千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1023 【取組・事業名】 養育指導教室「くまちゃんクラブ」

【事業概要】 幼児健康診査等で行動や養育上の問題で養育支援が必要と認められた幼児および保護者を対象に、幼児の発達状況に応じた適切な養育支援を行う。

【事業の課題】 専門スタッフが少なく幼児の発達状況について適正評価ができない場合があるため、養育支援が十分に行えない。この現状をふまえ、事業内容の再検討が必要である。

【事業の目標】 対象児の発達を促すとともに、保護者等の育児不安の軽減を図り、良好な養育環境がつけられるよう努めます。

【事業の目標指標】
＜指標＞対象者の参加率
＜基準値（20年度）＞73.3%
＜目標値（26年度）＞100%

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☒ 母親 ☒ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 2歳～6歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	236千円	206千円	88.9%	発達障害への対応も含め、教室内容の検討を図る。
23	444千円	382千円	80.4%	23年度より、3歳児健診以降の支援の強化のため、対象児を3歳児健診の事後とした。また、発達を適正に評価しアドバイスするため小児科医、臨床心理士による専門相談を設けるとともに、幼児発達記録票を利用した個別相談会を年2回実施した。
24	482千円	472千円	92.3%	行動発達面について就学に向けた支援を図るため、事業に参加した年中児の保護者を対象に、OB会を年2回実施し、市教育研究所指導主事による講話や情報交換を行った。
25	538千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1024 【取組・事業名】 健康教育・健康相談

【事業概要】 市主催の各種事業で健康教育・健康相談を実施するほか、地域の要望に応じて実施する。

【事業の課題】

【事業の目標】 乳幼児の健康に関する知識について、普及啓発を図ります。

【事業の目標指標】
指標>ニーズ調査（就学前）話し相手や相談相手のいない母親の割合
基準値（20年度）> 7.0%
目標値（26年度）>基準値より減少

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
■ □ □ □ ■ ■ ■ （祖父母等や地域で子育て支援スタッフ）
<子どもの対象年齢> 0歳～5歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	591千円	557千円	-	（事業実績） ・健康教育 40回、1,531人 ・健康相談 40回、233人 地域からの要望を重視したテーマを取り入れ実施する。
23	29千円	18千円	6.8%	（事業実績） ・健康教育 39回、873人 ・健康相談 36回、317人 保健予防課地区担当保健師との連絡調整を図りながら実施する。
24	34千円	34千円	-	（事業実績） ・健康教育：61回、1,972人 ・健康相談：53回、416人 地域からの要望を取り入れ、必要時保健予防課地区担当保健師との連携調整を図りながら実施する。
25	35千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1025 【取組・事業名】 母子の訪問指導

【事業概要】 乳幼児健康診査未受診者や支援が必要となった乳幼児、必要と認められた乳幼児に対し、訪問指導を行う。

【事業の課題】

【事業の目標】 子どもの心身の健やかな発達や親の育児不安の軽減を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞ニーズ調査（就学前）子育てに自信の持てない親の割合
＜基準値（20年度）＞17.0%
＜目標値（26年度）＞基準値より減少

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
■ □ □ □ □ ■ □ ()
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～4歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	-	医療機関と連携が図られるよう、妊産婦保健サービスについて医療機関に周知する。
23	0千円	0千円	18%	医療機関と連携が図られるよう、妊産婦保健サービスについて医療機関に周知する。
24	0千円	0千円	-	医療機関と連携が図られるよう、妊産婦保健サービスについて医療機関に周知する。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1026 【取組・事業名】 むし歯予防教室

【事業概要】 幼児とその保護者を対象に歯磨きの実技指導、食生活についての講話、個別相談などを行う

【事業の課題】

【事業の目標】 実技指導や講話を通し、保護者が適切なむし歯予防方法を習得し、実践できるよう支援します。

【事業の目標指標】 指標> 秋田市と全国平均との3歳児むし歯罹患率の差 事業アンケート理解度
<基準値(20年度)> +9.7ポイント 99.3%
<目標値(26年度)> 0ポイント 100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☒ ()
<子どもの対象年齢> 0歳～3歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	148千円	134千円	+7.1ポイント 99.1%	むし歯予防に関する保護者のニーズを把握し、講座内容の充実を図った。
23	190千円	127千円	+4.9ポイント 99.3%	むし歯予防に関する保護者のニーズを把握し、講座内容の充実を図った。
24	148千円	144千円	(未確定) 99.6%	むし歯予防に関する保護者のニーズを把握し、講座内容の充実を図った。
25	148千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1027 【取組・事業名】 乳幼児健康教育相談

【事業概要】 乳幼児の保護者を対象に、ニーズを踏まえた内容での講話や実技指導を行う。

【事業の課題】

【事業の目標】 育児に関する知識の普及により、育児能力の向上を図ります。

【事業の目標指標】 指標＞ ニーズ調査（就学前）病気や発育・発達に関する悩みをもつ親の割合 事業アンケート講座の満足度
＜基準値（20年度）＞ 34.4% 87.2%
＜目標値（26年度）＞ 基準値より減少 基準値より増加

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～ 0歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	84千円	70千円	- 86%	参加者の増加を図るため、会場やPR方法を検討する。
23	79千円	79千円	33% 80%	平成23年度は乳幼児期の事故予防について講座を開催した。参加者の増加を図るため、内容について検討する。
24	78千円	78千円	- 87.1%	幼児と保護者を対象に食事に関する講話と運動の体験学習を取り入れた講座を開催した。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1028 【取組・事業名】 育児相談

【事業概要】 乳幼児およびその保護者を対象に、毎月1回の定期相談および随時対応により、保健師、栄養士、歯科衛生士が育児相談、食生活相談、歯科相談等を行う。

【事業の課題】 市民が利用しやすい実施方法について検討する。

【事業の目標】 適切な指導や助言により、乳幼児の健全な発育・発達の促進および育児不安の軽減を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞ ニーズ調査（就学前）話し相手や相談相手のいない人」の割合 相談人数
＜基準値（20年度）＞ 7.0% 56人
＜目標値（26年度）＞ 基準値より減少 相談希望者に対応する

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
■ □ □ □ ■ ■ □ ()
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～17歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	5千円	5千円	- 延べ56人	PRを強化する。
23	0千円	0千円	6.8% 延べ45人	PRを強化する。
24	0千円	0千円	- 延べ35人	平成25年度は、「歯ッピーマウス」や「幼児発達支援事業」等の他事業との調整を図り実施する。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1029 【取組・事業名】 秋田市親子よい歯のコンクール

【事業概要】 3歳児健康診査での歯科健康診査において、むし歯に罹患していない幼児およびその保護者を表彰する。

【事業の課題】

【事業の目標】 幼児歯科保健の普及啓発を図り、乳幼児のむし歯罹患率の低下に努めます。

【事業の目標指標】
＜指標＞秋田市と全国平均との3歳児むし歯罹患率の差
＜基準値（20年度）＞+9ポイント
＜目標値（26年度）＞0ポイント

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
■ □ □ □ ■ ■ □ ()
＜子どもの対象年齢＞ 3歳～4歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	78千円	77千円	+7.1ポイント	
23	70千円	70千円	+4.9ポイント	対象者の抽出方法を検討する。
24	70千円	69千円	（未確定）	むし歯のない保護者の一次審査（口腔審査）を3歳児健診時に実施した。
25	69千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 102-10 【取組・事業名】 こんにちは赤ちゃん訪問事業

【事業概要】 生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する助言、情報提供や状況に応じた育児サービス紹介等を行う。

【事業の課題】 対象家庭全戸に訪問する必要がある。

【事業の目標】 産後間もない時期に訪問し、育児不安の軽減と適切な支援を行います。

【事業の目標指標】
＜指標＞ ニーズ調査（就学前）子育てに関しての不安や負担を感じている親の割合 訪問実施率
＜基準値（20年度）＞ 76.9% 77.1%
＜目標値（26年度）＞ 基準値より減少 100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☒ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～ 0歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	6,433千円	6,479千円	- 81.7%	訪問対象者のほか、市民全体へ広く事業のPRを行う。
23	6,749千円	6,692千円	74.8% 84.2%	訪問対象者のほか、市民全体へ広く事業のPRを行う。
24	7,385千円	6,976千円	- 87.0%	事業を評価するために、初期離乳食教室参加者にアンケート調査を実施した。 訪問者数 2,074人 訪問実施率 87.0%
25	7,356千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 102-11 【取組・事業名】 親サポート事業

【事業概要】 7か月児、1歳6か月児健康診査において、保護者の心身の健康状態や養育環境等をアンケートにより把握し、育児不安や悩みを抱える保護者に対して必要な助言、指導を行う。

【事業の課題】

【事業の目標】 親の育児不安や育児ストレス等を未然に防ぎ、安心して子育てができるよう育児支援の充実を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞ニーズ調査「子育てに関する不安感や負担感を感じている親」の割合
＜基準値（20年度）＞76.9%
＜目標値（26年度）＞基準値より減少

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ()
 ＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	132千円	132千円	-	事業の効果を検証する。
23	132千円	132千円	74.8%	事業の効果を検証する。
24	84千円	60千円	-	予算は乳幼児健康診査、育児支援事業を含む。事業の効果を検証する。
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 102-12 【取組・事業名】 幼児フッ化物塗布事業

【事業概要】 2歳から5歳までの幼児を対象に、歯科医療機関において年に1回フッ化物塗布を行う

【事業の課題】 事業のPRに努め、受診率を高める必要がある。

【事業の目標】 幼児のむし歯罹患率の減少およびむし歯予防に対する保護者の意識付けと正しい知識普及を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞ 秋田市小学校1年生のむし歯罹患率、秋田市小学校1年生のひとりあたりむし歯本数
＜基準値(20年度)＞ 67.72% 3.3本
＜目標値(26年度)＞ 57.72% 2.3本

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☒ 母親 ☒ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 2歳～5歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	千円	千円		
23	千円	千円		
24	6,500千円	5,445千円	(、とも未確定)	歯科医療機関でフッ化物塗布を行った。周知を図るため、啓発講座を年2回開催、3歳児健診受診者および保育所(園)、幼稚園へのRチラシの配付等を行った。
25	5,656千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 102乳幼児保健の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 102-13 【取組・事業名】 幼児発達支援事業

【事業概要】 保育所を通して、4歳児（年中児）の保護者へ幼児発達記録票「キッズ・ステップノート」を配布し、行動発達面の問題について保護者の気づきを促す。支援の必要な幼児及び保護者に対しては、臨床心理士等による巡回相談や発達相談等により、幼児の発達状況に応じた支援を行う。

【事業の課題】 幼児発達記録票の有効活用を図るため、保護者や保育所（園）へ周知していくとともに教育・医療・福祉部門等の専門機関との連携を強化する。

【事業の目標】 3歳児健診から就学時健診までの間に、保育所などの集団生活の中で表面化する発達障がい等、子どもの行動発達面の問題を早期に発見し、就学に向けた継続的支援を行うことにより、子どもの健全な発達を促す。

【事業の目標指標】
＜指標＞キッズ・ステップノートを活用している保育所（園）の割合
＜基準値（20年度）＞ -
＜目標値（26年度）＞ 58%

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ()
 ＜子どもの対象年齢＞ 4歳～ 6歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	千円	千円		
23	千円	千円		
24	千円	千円		
25	2,800千円	千円		ノートの活用について保育所（園）へ周知する。教育・医療・福祉部門等の専門機関との連携を図る。
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 103予防接種の充実 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 208500保健所 30健康管理課

【取組・事業No】 1031 【取組・事業名】 予防接種事業

【事業概要】 予防接種法に基づき、乳幼児、児童、中高校生に対し定期予防接種を行う

【事業の課題】 平成17年度に日本脳炎ワクチンで健康被害が発生したことにより、日本脳炎予防接種を原則中止としてきたが、22年度に新ワクチンでの接種が可能となったことで、22年度から接種が再開されている。原則中止としていた間に未接種者が増大していることや、定期接種の対象年齢から外れてしまった者への接種の促進が課題である。

【事業の目標】 予防接種は努力義務であって、強制できるものではないが、保護者には予防接種に対する認識を高めてもらえるよう啓発していく。

【事業の目標指標】
 <指標> 予防接種率 麻しん風しん2期 麻しん風しん3期 麻しん風しん4期 二種混合
 <基準値(20年度)> 98.6% 93.4% 84.2% 76.1%
 <目標値(26年度)> および 接種率95% (および は予防接種法等の一部改正に伴い24年度で終了)

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/hl/hm/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0歳～13歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	472,877千円	328,807千円	-	予防接種未接種者には、個別通知により接種を呼びかけているが、「麻しん・風しん予防接種のり・フレット」を作成し、集団予防接種時および医療機関等で配布し、接種率向上を図る。
23	442,655千円	374,938千円	98.9% 94.6% 87.9% 81.7%	予防接種未接種者に対し、個別通知により接種を呼びかけた。また、夏休み、冬休みには「広報あきた」で接種を勧奨した。
24	440,487千円	398,583千円	97.4% 94.9% 88.3% 93.9%	予防接種未接種者に対し、個別通知により接種の勧奨を行った。
25	367,039千円	千円		24年度まで任意接種であった子宮頸がん等3ワクチンが予防接種法の一部改正に伴い定期接種化となった。
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1 親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1 親子の健康確保
【施策名】 104 小児医療等体制の整備 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 91450 市立病院 50 総務課

【取組・事業No】 1041 【取組・事業名】 市立病院小児科初期診療部門の運営 (旧・夜間休日応急診療所運営事業)

【事業概要】 夜間や休日に小児の救急患者に対応するため、市立病院において、小児科、耳鼻科の初期診療部門を運営する。(平成 24 年 9 月 1 日から)

【事業の課題】 市内の病院小児科、診療所との連携を図り、小児医療体制の充実に努める必要がある。

【事業の目標】 小児科初期診療部門の運営により、夜間や休日における医療を確保します。

【事業の目標指標】
＜指標＞ ニーズ調査 市立病院小児科初期診療部門の認知率
＜基準値 (20 年度)＞ -
＜目標値 (26 年度)＞ 95% 以上

【関係 HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/hl/mn/clinic/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☒ 母親 ☒ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 0 歳 ~ 15 歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	86,463 千円	75,372 千円	-	【市立夜間応急診療所の内容】 診療所の利用者数は年々減少しており、平成 21 年度は新型インフルエンザの流行により、利用者が前年比 1,058 人増加したが、平成 22 年度は前年比 1,443 人減で、平成 20 年度と比較しても 385 人減と減少傾向が続いている。
23	75,699 千円	75,257 千円	94.7%	【市立夜間応急診療所の内容】 小児救急体制等の充実に努めるため、夜間休日応急診療所のあり方について検討を行った。
24	53,232 千円	53,009 千円	-	【小児科救急初期診療部門の内容】 平成 24 年 9 月から平成 25 年 3 月までの延べ患者数は、当初 3,340 人を見込んでいたが実績では 5,935 人であった。 混雑が予想される祝日や大型連休の対応について、院内関係者で協議を行った。
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 104小児医療等体制の整備 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 251000子ども未来部 10子ども総務課

【取組・事業No】 1042 【取組・事業名】 乳幼児医療費の助成

【事業概要】 医療費の心配をあまりせずに乳幼児に必要な医療が受けられるようにするため、就学前の乳幼児に係る医療費の自己負担分を助成する。

【事業の課題】 多額な事業費となるため、限られた財政の中での制度の維持。

【事業の目標】 対象となる乳幼児に係る医療費に対し、もれなく適正かつ迅速に助成します。

【事業の目標指標】
＜指標＞申請に基づく受給者数
＜基準値（20年度）＞12,373人
＜目標値（26年度）＞申請に基づく受給

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/sc/fukush2.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～6歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	375,848千円	367,278千円	12,073人に医療費の助成を実施した。	所得制限の撤廃や対象年齢の引き上げについて要望がある。 市単独での制度拡充には大幅な事業費の増加が見込まれるため、県に対しては制度の拡充を、また国に対しては医療費無料化制度の創設を要望している。
23	386,321千円	366,040千円	11,840人に医療費の助成を実施した。	県は、平成24年8月1日からの制度拡充を決めたが、本市では拡充内容や実施時期について未定であり、検討中である。
24	383,995千円	359,533千円	11,681人に医療費の助成を実施した。	平成25年8月1日から制度拡充を実施することとし、その準備作業に着手した。 拡充内容 乳幼児の所得制限を緩和 対象を小学生まで拡大（所得制限あり） 現行の市単独制度を継続
25	483,499千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 104小児医療等体制の整備 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1043 【取組・事業名】 未熟児養育事業（医療の給付）

【事業概要】 入院医療を必要とする未熟児に対し医療の給付を行う。

【事業の課題】

【事業の目標】 医療費を助成し、負担の軽減を図ります。

【事業の目標指標】 指標>給付人数
<基準値（20年度）>174人
<目標値（26年度）>申請に基づき給付する

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐（ ）
<子どもの対象年齢> 0歳～1歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	27,274千円	26,104千円	25件（120人）	医療の給付を行った。
23	30,334千円	27,834千円	25件（127人）	医療の給付を行った。
24	25,355千円	28,466千円	228件（105人）	医療の給付を行った。
25	25,541千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 104小児医療等体制の整備 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1044 【取組・事業名】 小児慢性特定疾患治療研究事業

【事業概要】 小児慢性特定疾患に罹患している18歳未満の児童（継続の場合20歳到達まで）に対し、医療費の給付を行う。
また、日常生活の便宜を図るため、日常生活用具の給付を行う。

【事業の課題】

【事業の目標】 医療費を助成し、負担の軽減を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞医療券交付人数
＜基準値（20年度）＞398人
＜目標値（26年度）＞申請に基づき給付する

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～17歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	83,158千円	79,255千円	受診券交付 398件 (391人) 日常生活用具給付数 1件	医療および日常生活用具の給付を行った。
23	80,492千円	73,770千円	受診券交付 401件 (393人)	医療の給付を行った。
24	71,995千円	73,209千円	受診券交付 372件 (366人) 日常生活用具給付数 2件	医療および日常生活用具の給付を行った。
25	70,920千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 104小児医療等体制の整備 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1045 【取組・事業名】 特定不妊治療費助成事業

【事業概要】 特定不妊治療に要した費用を助成する。

【事業の課題】

【事業の目標】 費用を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

【事業の目標指標】
指標>助成者数
<基準値(20年度)>延べ130人
<目標値(26年度)>申請に基づき助成する

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (特定不妊治療を受けた夫婦)
<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	20,468千円	25,258千円	延べ184人	
23	29,746千円	29,121千円	延べ211人	1年度目に限り3回申請できるよう、制度を拡充した。
24	36,702千円	44,909千円	延べ289人	1回の治療につき20万円まで、1年度あたり3回までに制度を拡充した。
25	39,290千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 105食育の充実 子どもを生み育てるための食育の充実 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 105 1 【取組・事業名】 離乳食教室

【事業概要】 乳児の保護者を対象とした教室を開催し、月齢に適した離乳食の進め方、調理の仕方、望ましい食生活についての指導を行います。

【事業の課題】 乳児とその保護者が、参加しやすい環境づくりに努めます。

【事業の目標】 保護者の離乳食に対する不安や心配ごとの解消に努めるとともに、望ましい食生活習慣の大切さについての理解を促します。

【事業の目標指標】
＜指標＞事業アンケート「不安や心配事が解消された人」の割合
＜基準値（20年度）＞ 82.2%
＜目標値（26年度）＞ 100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☒ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～ 0歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	174千円	159千円	80.2%	参加申し込み者数が定員を上回っているため、参加者の要望に応えられるよう、定員を増やして実施する必要がある。
23	181千円	181千円	77.9%	参加者の要望に応えられるよう、定員を増やして実施した。 24年度は、離乳食開始時の不安や心配事の解消のため、初期離乳食教室に調理実技指導を取り入れ実施する。
24	247千円	247千円	96.0%	保護者の食生活の傾向を調査した。25年度は、発達段階に合わせた食事内容をより具体的に指導するため、試食内容を見直し、指導の強化を図る。
25	285千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 105食育の充実 子どもを生み育てるための食育の充実 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 105 2 【取組・事業名】 幼児食教室

【事業概要】 幼児とその保護者を対象とした教室を開催し、幼児食の進め方、調理の仕方、食育の大切さ、望ましい食習慣についての指導を行います。

【事業の課題】 食に関する体験ができる場を提供するための環境づくりに努めます。

【事業の目標】 保護者の幼児食への不安や心配事の解消に努めるとともに、望ましい食生活習慣を身に付けることができるよう支援します。

【事業の目標指標】
＜指標＞事業アンケート「不安や心配事が解消された人」の割合
＜基準値（20年度）＞76.7%
＜目標値（26年度）＞100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☒ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 1歳～4歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	43千円	42千円	63.4%	実施時期や回数について検討する必要がある。
23	30千円	30千円	73.9%	参加希望者の少ないばくばく教室の実施回数を1回減らして実施した。 24年度は、幅広く幼児食の指導を行うため、対象年齢を拡大して実施する。
24	37千円	37千円	80.0%	幼児と保護者に対して食に関する体験学習を取り入れて実施した。 25年度は、規則正しい生活習慣の確立のため、運動面からの支援を行う。
25	40千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 105食育の充実 子どもを生み育てるための食育の充実 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 105 3 【取組・事業名】 マタニティ食生活講座

【事業概要】 妊娠16週～35週の妊婦を対象とした講座を開催し、母体の変化に合わせた食事の進め方等についての指導を行います。

【事業の課題】 参加者同士が交流を通じ、情報交換の出来る場の環境づくりに努めます。

【事業の目標】 食事に対する不安や心配事の解消に努めるとともに、母体ならびに生まれてくる子どもの望ましい食生活習慣の確立を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞事業アンケート「不安や心配事が解消した人」の割合
＜基準値（20年度）＞94.4%（21年度実績）
＜目標値（26年度）＞100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/h/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☐ 若者 ☐ 妊婦 ☒ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	34千円	34千円	91.3%	参加者の増加を図るため、妊婦訪問時等で講座のPRに努める。
23	32千円	31千円	87%	参加者の増加を図るため、妊婦訪問時等で講座のPRに努める。
24	32千円	32千円	94.1%	妊婦の食生活の傾向を調査した。 25年度は、24年度の調査を基に講座内容の充実を図る。
25	12千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
 【施策名】 105食育の充実 子どもを生み育てるための食育の充実 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 252000子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No】 105 4 【取組・事業名】 保育所の給食を通じた食育支援

【事業概要】 保育所の給食を通して、子どもが様々な食に関わる体験を積み重ねることにより、食べ物に興味を持ち、食べることの楽しさを実感できる子どもを育成する。また、アレルギー児などへ個別に対応した給食の提供に努める。

【事業の課題】 子ども自身が食べることにに対して意欲をもてるようにする。

【事業の目標】 保育所給食を通して子どもの健全な食生活を実現し、健全な心身の成長を図ります。

【事業の目標指標】
 <指標>給食を摂れない児童の数
 <基準値(20年度)>0人
 <目標値(26年度)>0人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☒ (保育士)
 <子どもの対象年齢> 0歳～5歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0円	0円	0人	家庭への啓蒙を図るとともに、生活や遊びの中で食育の充実に努めた。
23	0円	0円	0人	家庭への啓蒙を図るとともに、生活や遊びの中で食育の充実に努めた。
24	0円	0円	0人	家庭への啓蒙を図るとともに、生活や遊びの中で食育の充実に努めた。
25	0円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
 【施策名】 105食育の充実 子どもを生み育てるための食育の充実 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 252000子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No】 105 5 【取組・事業名】 保育所調理師クッキング教室の実施

【事業概要】 在宅の親子を対象として、保育所調理師を講師とする幼児期の食事に関するクッキング教室を開催し、子育て中の親子が気軽に集い交流する機会を提供する。

【事業の課題】

【事業の目標】 保育所給食の紹介を通して幼児期の望ましい食生活の定着を図ります。

【事業の目標指標】
 <指標>開催回数
 <基準値(20年度)> 3回
 <目標値(26年度)> 4回

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☒ 母親 ☒ 他の区分 ☒ (保育士)
 <子どもの対象年齢> 0歳～ 5歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	0回	実施方法の検討が必要である。
23	0千円	0千円	0回	実施方法の検討が必要である。
24	0千円	0千円	0回	実施方法の検討が必要である。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 105食育の充実 学校等における食育の推進 【重点施策】□

【部局課所室】 701500教育委員会 04学校教育課

【取組・事業No】 105 1 【取組・事業名】 学校等における食育の推進

【事業概要】 小中学校における食育の充実を図るため、学校訪問指導を通し助言等を行うとともに、食育に関する教職員の資質向上にかかる教職員研修会の充実を図る。

【事業の課題】 学校における食育の指導体制のあり方や具体的な指導内容などを明確にする。

【事業の目標】 児童生徒一人ひとりが、食事の大切さを理解し、望ましい食生活を営む力を身につけるよう、家庭との連携を図りながら食育の充実に努めます。

【事業の目標指標】
＜指標＞ 食育に関する学校訪問数 食育にかかる教職員研修会の講座数
＜基準値（20年度）＞ 0校 1講座
＜目標値（26年度）＞ 26年度までに40校を訪問 2講座の実施

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (小中学校)
 ＜子どもの対象年齢＞ 6歳～15歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	7校 2講座	学校規模や栄養職員配置の有無にかかわらず、年次計画で学校訪問指導を実施し、食育の推進に努める。 安全安心な学校給食運営と食育推進のために、研修内容の充実を図る。
23	0千円	0千円	9校 1講座	学校規模や栄養職員配置の有無にかかわらず、年次計画で学校訪問指導を実施し、食育の推進に努める。 安全安心な学校給食運営と食育推進のために、研修内容の充実を図る。
24	0千円	0千円	9校 1講座	学校規模や栄養職員配置の有無にかかわらず、年次計画で学校訪問指導を実施し、食育の推進に努める。 安全安心な学校給食運営と食育推進のために、研修内容の充実を図る。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-1親子の健康確保
【施策名】 105食育の充実 学校等における食育の推進 【重点施策】□

【部局課所室】 401000農林部 11農林総務課

【取組・事業No】 105 2 【取組・事業名】 農業体験学習推進対策事業

【事業概要】 子どもたちが農業体験等を通じて「食」への理解を深め、豊かな情操を育むことを目的に小学校等が実施する農業体験学習に対し助成する。
また、奥檜岱地区第一市民農園の利用団体を対象に、農業体験等を通じた食育活動を支援する。

【事業の課題】 ・農業体験学習のほ場提供などに協力してもらえる農業者が少ない。
経費負担の問題等から、助成事業終了後に農業体験学習の継続ができない学校が多い。
・市街化地中心部の学校では近隣に農地がなく、農業体験学習を行うためにバス等での移動が必要となることから、経費負担が大きい。
・JAとの連携強化や協力農家のネットワークづくりなど、円滑な農業体験学習推進体制の構築や事業の実施方法について検討する必要がある。

【事業の目標】 農業体験学習を通じ、自然の恩恵や農業者の様々な知恵や活動を学ぶことで、「食」に関する感謝の気持ちと理解を身につけるよう、学校関係者や協力農家と連携し、食育の推進を図ります。

【事業の目標指標】 <指標>事業を実施した学校の累計数
<基準値(20年度)>14校
<目標値(26年度)>24校

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ag/mn/taken-gakusyu.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
■ □ □ □ □ □ □ ()
<子どもの対象年齢> 3歳～ 12歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	400千円	400千円	小学校 4校、幼稚園 1園	農業体験学習に協力してもらえる農業者が限られ、学校側へ提供できる情報が少ない。JAなどの連携を強化し、農業者の情報を集める必要がある。
23	400千円	400千円	累計 8校(単年度:小学校 4校、幼稚園 1園)	農業体験学習が各校に取り入れられてきていることから、25年度をもって終了予定。
24	240千円	240千円	累計 10校(単年度:小学校 2校、幼稚園 1園)	同上。
25	80千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 106児童虐待防止対策の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 255000子ども未来部 70子ども未来センター

【取組・事業No】 1061 【取組・事業名】 要保護児童対策地域協議会

【事業概要】 児童虐待の未然防止と早期発見・早期対応を図るため、要保護児童対策地域協議会を運営し、関係機関との連携強化や支援体制を整備する。

【事業の課題】 要保護児童対策地域協議会の機能を強化することが必要である。

【事業の目標】 児童虐待の未然防止と早期発見・早期対応の推進を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞会議開催回数
＜基準値（20年度）＞10回
＜目標値（26年度）＞22回

【関係HP】 <http://www.mhlw.go.jp/>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 ＜子どもの対象年齢＞ 0歳～ 17歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	1,086千円	841千円	代表者会議 2回、実務者会議 4回、進行管理部会 4回 計 10回実施	既存の会議については、会議内容の充実を図っていく。また、実務者会議については、会議の開催スタイル、回数等を検討していく。
23	6,327千円	5,456千円	代表者会議 2回、実務者会議 4回、進行管理部会 4回、個別ケース検討会議 17回のほか子育て支援者向けの研修会 1回、一般市民向けの虐待防止イベント 1回実施	協議会の機能をより一層強化する必要があることから、各会議内容の充実を図り、機関連携の強化を図る。また、虐待防止啓発についても積極的に研修会、勉強会、イベント等を実施していく。
24	1,767千円	1,523千円	代表者会議 2回、実務者会議 3回、個別ケース検討会議 11回のほか子育て支援者向け研修会 1回、一般市民向けの虐待防止イベント 1回実施	協議会の機能をより一層強化する必要があることから、各会議内容の充実を図り、機関連携の強化を図る。また、虐待防止啓発についても積極的に研修会、勉強会、イベント等継続していく。
25	1,770千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 106児童虐待防止対策の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 255000子ども未来部 70子ども未来センター

【取組・事業No】 1062 【取組・事業名】 児童家庭相談

【事業概要】 子どもの最善の利益を考慮し、子ども及びその家庭の相談に応じ、保護者も含めた支援により子どもの福祉の向上を図る。また、児童虐待の早期発見、早期対応等、適切な援助を実施する。

【事業の課題】 複雑な背景を持つことが多い児童家庭相談に対応するため、相談体制の強化が必要である。

【事業の目標】 家庭における適正な児童養育の推進を図るため、児童家庭相談に適切に対応します。

【事業の目標指標】
＜指標＞相談件数
＜基準値（20年度）＞5,950件
＜目標値（26年度）＞6,772件

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
■ ■ ■ ■ ■ ■ □ ()
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～ 17歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	20,958千円	18,954千円	4,862件	相談体制の強化に努め、児童家庭相談に適切に対応する。
23	18,847千円	18,279千円	3,495件	相談体制の強化に努め、児童家庭相談に適切に対応する。
24	17,896千円	17,522千円	3,865件	相談体制の強化に努め、児童家庭相談に適切に対応する。
25	17,564千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 106児童虐待防止対策の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 255000子ども未来部 70子ども未来センター

【取組・事業No】 1063 【取組・事業名】 養育支援訪問事業

【事業概要】 育児に関して不安や孤立感を抱えたり、食事等の生活環境が不適切な養育状態にあるなど、養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、支援者がその居宅を訪問し、養育に関する具体的な指導、助言等を行うことにより、適切な養育環境を確保する。

【事業の課題】 事業を効果的に展開するために、支援の時期を逸しないよう養育支援が必要な家庭の早期発見・早期対応に努め、庁内関係部局や各関係機関との情報提供・情報共有が緊密に行われるよう、更なる連携体制の充実を図る必要がある。

【事業の目標】 家庭を取り巻く関係機関が連携して養育支援が必要な家庭を早期発見し、本事業につなげ、各家庭の養育状況に応じた具体的な助言・指導等早期対応することにより児童虐待の未然防止を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞入所措置決定者数
＜基準値（20年度）＞10人
＜目標値（26年度）＞6人

【関係HP】 <http://www.mhlw.go.jp>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☒ ☒ ☒ ☒ ☐ ()
 ＜子どもの対象年齢＞ 0歳～ 17歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	840千円	525千円	10人	支援限度（時間、頻度）の見直しを図り、当該世帯の状況にあった支援を行えるよう改善する。
23	2,184千円	1,570千円	15人	適切な支援ができるよう養育支援員と専門的相談にあたる者の情報共有と同行訪問を推進する。
24	754千円	717千円	18人	適切な支援が行えるよう養育支援員との情報共有の徹底や同行訪問等を推進する。また、当該世帯の状況に応じた支援が行えるよう支援内容の見直しを図る。
25	864千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 106児童虐待防止対策の充実 【重点施策】 ■

【部局課所室】 254000子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No】 1064 【取組・事業名】 こにちは赤ちゃん訪問事業 (再掲)

【事業概要】 生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する助言、情報提供や状況に応じた育児サービス紹介等を行う。

【事業の課題】 対象家庭全戸に訪問する必要がある。

【事業の目標】 産後間もない時期に訪問し、育児不安の軽減と適切な支援を行います。

【事業の目標指標】
＜指標＞ ニーズ調査 (就学前) 子育てに関しての不安や負担を感じている親の割合 訪問実施率
＜基準値 (20年度)＞ 76.9% 77.1%
＜目標値 (26年度)＞ 減少 100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/hl/pr/boshi/sinhou.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☒ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 0歳～ 0歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	6,433千円	6,479千円	- 81.7%	訪問対象者のほか、市民全体へ広く事業のPRを行う。
23	6,749千円	6,692千円	74.8% 84.2%	訪問対象者のほか、市民全体へ広く事業のPRを行う。
24	7,385千円	6,976千円	74.8% 87.0%	事業を評価するために、初期離乳食教室参加者にアンケート調査を実施した。 訪問者数 2,074人 訪問実施率 87.0%
25	7,356千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 107ひとり親家庭等の自立支援の推進 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 251000子ども未来部 10子ども総務課

【取組・事業No】 1071 【取組・事業名】 ひとり親家庭自立支援事業

【事業概要】 ひとり親家庭の親は、生計を支える基盤が脆弱であり、就業支援を柱とした総合的な自立支援が必要とされていることから、就職・転職に役立つ資格取得講座を開催するとともに、民間で行っている講座を受講した際の受講料を補助する自立支援教育訓練給付金事業を実施する。また、母子家庭の母の就労支援として、安定的に増収が見込める資格取得を支援する高等技能訓練促進費事業を実施する。

【事業の課題】 ひとり親家庭、とりわけ母子家庭は、近年の経済不況のあおりを受けて、パート・非常勤化や雇い止め等、就労環境が悪化傾向にあることから、金銭給付等の経済的支援と併せて、就業支援に重きを置いた自立支援が必要とされている。

【事業の目標】 ひとり親家庭の就業をより効果的に促進するための総合的な自立支援策を行い、ひとり親家庭の自立促進を図ります。

【事業の目標指標】
 <指標> 資格取得講座受講者数 自立支援教育訓練給付金対象者数
 <基準値(20年度)> 66人 8人
 <目標値(26年度)> 70人 10人

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/bs/shien/jiritsusen.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (ひとり親世帯)
 <子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	4,697千円	2,938千円	37人 3人	これまでの利用実績と財政状況を踏まえ、資格取得講座については、事業規模が縮小傾向にある。
23	9,033千円	8,091千円	42人 5人	受講者数に若干の増加が見られたが、引き続き制度の周知に努めることとする。
24	7,615千円	7,455千円	41人 3人	医療事務は就職事情が厳しく受講者が激減している。当面介護職に集中すると思われるが、制度改正により自己負担額も高額となるため、補助率の引き上げ等の検討が必要。
25	8,815千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 107ひとり親家庭等の自立支援の推進 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 251000子ども未来部 10子ども総務課

【取組・事業No】 1072 【取組・事業名】 母子寡婦福祉資金貸付事業

【事業概要】 母子家庭および寡婦の経済的自立と児童の福祉向上のため、修学資金・就学支度資金等を貸し付ける。

【事業の課題】 修学意欲のある者に対し、一層の負担軽減を図るため適切な貸付を行う。

【事業の目標】 母子家庭および寡婦の経済的自立と児童の福祉の向上を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞貸付件数
＜基準値（20年度）＞100件
＜目標値（26年度）＞100件

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/ch/skinn.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (母子家庭および寡婦)
＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	77,480千円	62,748千円	141件	未収金が増加しており、滞納者への償還指導を行い、改善に努める。
23	80,126千円	58,854千円	121件	未収金が増加しており、滞納者への償還指導を行い、改善に努める。
24	79,901千円	41,765千円	84件	未収金が増加しており、滞納者への償還指導を行い、改善に努める。
25	59,336千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 107ひとり親家庭等の自立支援の推進 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 251000子ども未来部 10子ども総務課

【取組・事業No】 1073 【取組・事業名】 児童扶養手当支給

【事業概要】 父または母と生計を同じくしていない児童を養育している家庭の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し児童の福祉の向上を図る。

【事業の課題】 母子、父子家庭も解雇や勤務時間短縮など近年の経済不況のあおりを受けて、就労環境が悪化傾向にある。児童扶養手当給付による経済的支援と併行して今後は就業支援を柱とした自立支援の推進を展開していく。

【事業の目標】 母子、父子家庭の経済的自立を支援します。

【事業の目標指標】
＜指標＞申請に基づく受給者数
＜基準値（20年度）＞2,838人
＜目標値（26年度）＞申請に基づき給付する

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/bs/shien/jifu.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒

（離婚等により父や母と生計を同一にしていない児童のほか、父か母が障害者である場合の児童について、その児童を監護する父又は母、父母に代わって児童を養育している者）

＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	1,291,992千円	1,291,933千円	3,063人	22年8月から、それまで支給対象となっていなかった父子家庭も支給対象となった。
23	1,346,364千円	1,345,793千円	3,086人	1世帯の児童扶養手当額が増額していることから所得がさがったことがわかる。安定した収入を得るための就労支援が重要である。
24	1,350,854千円	1,344,480千円	3,032人	引き続き経済的支援と併行して就労支援を行っていく。
25	1,372,682千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 107ひとり親家庭等の自立支援の推進 【重点施策】 ☐

【部局課所室】 357000商工部 15商工労働課

【取組・事業No】 1074 【取組・事業名】 就業支援事業

【事業概要】 求職者が仕事に就くために必要な技術等を習得し、就業の促進を図る。

【事業の課題】 求人数の減少

【事業の目標】 受講者の就職を支援します。

【事業の目標指標】 指標>受講者の就職者数
<基準値(20年度)>>0人(市単事業としては実施せず)
<目標値(26年度)>>100人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☒ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ()
<子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	5,532千円	1,272千円	7講座 33人受講	受講者が要望する講座内容とのマッチングが必要である
23	3,688千円	1,797千円	11講座 47人受講	受講者数が少ないことおよび雇用情勢の回復により、23年度で終了。
24	千円	千円		【事業終了】
25	千円	千円		【事業終了】
26	千円	千円		【事業終了】

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 108障がいのある子どもに対する支援 【重点施策】□

【部局課所室】 202000福祉保健部 20障がい福祉課

【取組・事業No】 1081 【取組・事業名】 障がい児通所支援 (旧・重症心身障害児者通園事業)

【事業概要】 在宅の重症心身障がい児者に対し、機能低下の防止および発達を促すことを目的として秋田県立医療療育センターが実施するサービス*を本市在住の重症心身障がい児が受けられるようにするため、本市分の負担金を支払うとともに利用申請事務を行う。
(*看護師、児童指導員または保育士、理学療法・作業療法・言語療法等を担当する職員を配置し、日常生活動作、運動機能等に係る訓練、指導等の必要な療育を行う)

【事業の課題】

【事業の目標】 秋田県立医療療育センターに通園することにより在宅の重症心身障がい児が、日常生活動作、運動機能に係る訓練、指導等の必要な養育を受け、機能低下の防止および発達が促されるサービスを受ける申請等に対し、迅速かつ適切に処理します。

【事業の目標指標】 <指標>利用希望者に対するサービス提供率
<基準値(20年度)>100%
<目標値(26年度)>100%

【関係HP】 <http://www.aic.or.jp/youku/jushintsuen.html>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
□ □ □ □ □ □ ■ (重症心身障害児者)
<子どもの対象年齢> 歳～歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	696千円	205千円	100%	現行サービスレベルの維持を基本に、今後の法制度の改正等を注視し、必要に応じて見直しを行っていく。
23	626千円	232千円	100%	現行サービスレベルの維持を基本に、今後の法制度の改正等を注視し、必要に応じて見直しを行っていく。
24	135,468千円	135,384千円	100%	24年4月の児童福祉法改正に伴い、市町村が事業主体となって実施。また、事業名も併せて変更している。
25	158,175千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 108障がいのある子どもに対する支援 **【重点施策】** ☐

【部局課所室】 202000福祉保健部 20障がい福祉課

【取組・事業No】 1082 **【取組・事業名】** 日中一時支援事業（放課後支援型）

【事業概要】 障がいのある小中高生が特別支援学校下校後および夏休み等長期休暇中に活動する場が確保されるとともに、障がい児を持つ保護者の負担が軽減され就労しやすくするため、放課後支援型の日中一時支援室（通称）を設置する。

【事業の課題】 現在、秋田きらり支援学校、栗田養護学校、天王みどり学園の3校において実施しているが、就労している保護者の増により、利用希望者への対応が必要である。

【事業の目標】 利用希望者全員が安全にかつ速やかに利用できるようにします。

【事業の目標指標】
＜指標＞利用希望者の受入数
＜基準値（20年度）＞25人
＜目標値（26年度）＞38人

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/sc/tikisekatusien.htm#5nittyuu>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐（ ）
＜子どもの対象年齢＞ 6歳～17歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	11,414千円	10,239千円	利用者数 33人	共働き家庭の増加に伴い、利用希望者が増えている。学校側や委託事業者との調整・協議が必要である。
23	11,416千円	10,384千円	利用者数 34人	共働き家庭の増加に伴い、利用希望者が増えている。学校側や委託事業者との調整・協議が必要である。
24	12,254千円	10,445千円	利用者数 37人	共働き家庭の増加に伴い、利用希望者が増えている。学校側や委託事業者との調整・協議が必要である。
25	11,447千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 108障がいのある子どもに対する支援 **【重点施策】** ☐

【部局課所室】 202000福祉保健部 20障がい福祉課

【取組・事業No】 1083 **【取組・事業名】** 障害者自立支援法における障害福祉サービスの提供

【事業概要】 障がい児が地域で充実した生活ができるよう、障害福祉サービスおよび児童発達支援等のサービスを提供する。
平成18年10月に施行された障害者自立支援法に基づいて、障がい児に対して実施している障害福祉サービスは、居宅介護と短期入所があり、また、平成24年4月から児童福祉法の改正により、市町村が障害児通所支援の実施主体となり、児童発達支援、放課後等デイサービス等を提供する。
1.居宅介護
居宅において、入浴や排せつ、食事等の介護、その他生活全般にわたって援助を行うサービス
2.短期入所
居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、障害者支援施設、児童福祉施設等への短期間の入所を必要とする障がい児につき、当該施設に短期間の入所をさせて、入浴、排せつおよび食事の介護その他の必要な支援を行うサービス
3.児童発達支援、放課後等デイサービス
日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練、社会との交流の促進などのサービスが受けられる。

【事業の課題】 障害者自立支援法の廃止に伴い、改正後制度への迅速な対応

【事業の目標】 支援を必要としている障がい児に対して適切かつ迅速に障害福祉サービスを提供します。

【事業の目標指標】 <指標>利用申請に対する提供率
<基準値(20年度)>100%
<目標値(26年度)>100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/sc/jiritushien.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
<子どもの対象年齢> 0歳～17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	3,384,717千円	3,309,003千円	100%	本市内としては初となる児童デイサービス事業所が1事業所開所した。
23	3,664,144千円	3,645,156千円	100%	短期入所の支給量を7日とした。
24	4,312,133千円	4,193,123千円	100%	児童デイサービスが平成24年4月より「児童発達支援」「放課後等デイサービス」等に変更になった。
25	4,489,745千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 108障がいのある子どもに対する支援 【重点施策】 □

【部局課所室】 202000福祉保健部 20障がい福祉課

【取組・事業No】 1084 【取組・事業名】 各種サービスの情報提供

【事業概要】 支援を必要とする障がい児および保護者が、必要な各種福祉サービスの情報を容易に得られるようにするため、各種障害福祉サービスの情報を掲載した「障がい者のためのくらしのしおり」を作成し、市役所や支所等の公共施設に設置する。また、同じしおりを秋田市ホームページへ掲載する。

【事業の課題】 制度改正に対応してわかりやすい情報提供体制を提供する。

【事業の目標】 「障がい者のためのくらしのしおり」やホームページなどをより使いやすくし、情報を入手しやすくします。

【事業の目標指標】 <指標> サービス情報提供不足に関するクレーム、要望数
<基準値 (20年度)> -
<目標値 (26年度)> 0件

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/guide/handicap/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども ■ 若者 ■ 妊婦 ■ 産婦 ■ 父親 ■ 母親 ■ 他の区分 ■ (障害児者)
<子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	1,000千円	996千円	0件	関連情報をよりわかりやすくかつ迅速に提供する取組を継続する。
23	1,000千円	996千円	0件	関連情報をよりわかりやすくかつ迅速に提供する取組を継続する。
24	1,000千円	999千円	0件	関連情報をよりわかりやすくかつ迅速に提供する取組を継続する。
25	1,000千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 108障がいのある子どもに対する支援 **【重点施策】** ☐

【部局課所室】 202000福祉保健部 20障がい福祉課

【取組・事業No】 1085 **【取組・事業名】** 障がい児等療育支援事業

【事業概要】 在宅の知的障がい児の療育に関する相談に対応するため、指定相談事業所等の相談窓口を設置する。

【事業の課題】

【事業の目標】 療育に関する相談ができずに悩んでいる人を減らします。

【事業の目標指標】
＜指標＞障がい児の療育に係る相談に対する対応率
＜基準値（20年度）＞100%
＜目標値（26年度）＞100%

【関係HP】 <http://www.kumei.or.jp/frame-sienjgyou.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ （障害児者）
＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	31,251千円	31,251千円	対応率 100%	在宅の障がい児の療育に係る相談に対応するため取組を継続する。
23	40,526千円	40,526千円	対応率 100%	在宅の障がい児の療育に係る相談に対応するため取組を継続する。
24	39,603千円	39,596千円	対応率 100%	在宅の障がい児の療育に係る相談に対応するため取組を継続する。
25	39,410千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 108障がいのある子どもに対する支援 **【重点施策】** ☐

【部局課所室】 252000子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No】 1086 **【取組・事業名】** 公立保育所障がい児保育事業

【事業概要】 公立保育所において障がい児の受入れを円滑化し、障がい児保育の充実を図るため、必要な保育士を配置する。

【事業の課題】 軽・中度の障がい児を受け入れしているが、障がいの認定は受けていない軽度の発達遅滞等の症状が見られる児童が増加している。

【事業の目標】 障がいの程度に関わらず、児童一人ひとりの状況等把握し保育を実施するほか、保護者に対しても支援を行っていきます。

【事業の目標指標】
＜指標＞受入児童数
＜基準値（20年度）＞27人
＜目標値（26年度）＞24人

【関係HP】

【事業対象の区分】
☒ 子ども ☐ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☒ 他の区分
 （保育士）
 ＜子どもの対象年齢＞ 0歳～5歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	34,425千円	30,205千円	7人（4施設）	増加傾向にある障がい児の受け入れに応じた保育士を確保する。
23	30,944千円	22,692千円	24人（1施設）	増加傾向にある障がい児の受け入れに応じた保育士を確保する。
24	34,988千円	34,064千円	18人（13施設）	増加傾向にある障がい児の受け入れに応じた保育士を確保する。
25	33,163千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 108障がいのある子どもに対する支援 **【重点施策】** ☐

【部局課所室】 252000子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No】 1087 **【取組・事業名】** 私立保育所障がい児保育事業

【事業概要】 私立保育所において障がい児の受入れを円滑化し、障がい児保育の充実を図るため、必要な保育士を配置するための補助金を交付する。

【事業の課題】 障がいがあると認定される子どもが増える傾向にあるほか、これまで集団保育になじまないとされていた障がいを持つ子どもの入所希望も増えており、従前の事業規模では対応しきれなくなっている。

【事業の目標】 保育を希望する全ての就学前児童が、障がいの有無にかかわらず、保育を受けることができる環境の整備を図ります。

【事業の目標指標】
<指標>受入施設数
<基準値(20年度)> 15施設
<目標値(26年度)> 18施設

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
<子どもの対象年齢> 0歳～5歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	23,977千円	23,732千円	2施設(36人)	増加傾向にある障がい児の受け入れ基盤の充実を図る。 なお、既に26年度目標値を上回る実績となっており、対象者の増や受け入れ基盤の整備等が予定よりも早く進んでいる。
23	26,182千円	20,130千円	20施設(31人)	集団保育が可能で保育を希望する中度、軽度障がい児の受入れに対応できるよう基盤の充実を図る。
24	23,244千円	22,388千円	2施設(34人)	集団保育が可能で保育を希望する中度、軽度障がい児の受入れに対応できるよう基盤の充実を図る。
25	23,835千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 108障がいのある子どもに対する支援 **【重点施策】** ☐

【部局課所室】 252000子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No】 1088 **【取組・事業名】** 保育士サポート研修

【事業概要】 関係機関との連携のもとに、公立・私立保育所の保育士を対象として、障がい児の保育等個別ケースについて研究、講演会、施設見学、協議などの研修を行う。

【事業の課題】 正しい知識や情報を得ることにより、保護者に対してよりよい支援ができるように努める。

【事業の目標】 障がい児のみならず、「気になる子」およびその保護者に対する個別の支援を実施できるよう保育士の資質向上を図ります。

【事業の目標指標】
＜指標＞開催回数
＜基準値（20年度）＞12回
＜目標値（26年度）＞12回

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ （保育士）
＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	0千円	0千円	12回	支援施設との連携を密にし、具体的な手立てを学ぶことにより、よりよい個別の支援ができるよう努めた。
23	0千円	0千円	8回	支援施設との連携を密にし、具体的な手立てを学ぶことにより、よりよい個別の支援ができるよう努めた。
24	0千円	0千円	8回	支援施設との連携を密にし、具体的な手立てを学ぶことにより、よりよい個別の支援ができるよう努めた。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 1親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2要保護児童対策
【施策名】 108障がいのある子どもに対する支援 **【重点施策】** ☐

【部局課所室】 252000子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No】 1089 **【取組・事業名】** 放課後児童健全育成事業

【事業概要】 放課後児童クラブのうち、特別支援学級在籍児童等を受け入れているクラブに対し、委託料の運営基本額に障がい児受入れに要する経費の一部を加算し、障がい児の受入れを促進する。

【事業の課題】 障がい児を受け入れる放課後児童クラブは増えてきているものの、クラブ側の負担が大きいため、加算の増額等受け入れしやすい体制づくりが必要である。

【事業の目標】 障がい児の受入れ体制を整備、促進します。

【事業の目標指標】
＜指標＞障がい児受入クラブ数
＜基準値（20年度）＞9クラブ
＜目標値（26年度）＞17クラブ（12クラブから変更）

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/lf/houkagogidou.htm>

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
＜子どもの対象年齢＞ 6歳～12歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	7,359千円	6,969千円	11クラブ	新規開設を予定しているクラブは、ほとんどが障がい児の受入を想定している。放課後児童クラブの登録児童の増加に伴い、障がい児の需要も年々増加しているものと考えられるが、クラブ側の受入体制を充実させるためには加算額の増額等の支援策が必要である。
23	9,366千円	7,359千円	14クラブ	放課後児童クラブの登録児童の増加に伴い、障がい児の需要も年々増加しているものと考えられるが、クラブ側の受入体制を充実させるためには加算額の増額等の支援策が必要である。
24	75,406千円	68,451千円	14クラブ	放課後児童クラブの登録児童の増加に伴い、障がい児の需要も年々増加しているものと考えられるが、クラブ側の受入体制を充実させるためには加算額の増額等の支援策が必要である。
25	79,539千円	千円		
26	千円	千円		